

かがやく

— あなたも、わたしも —

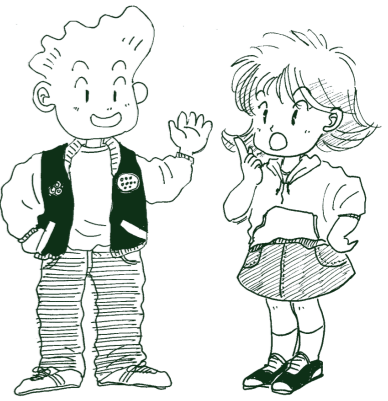
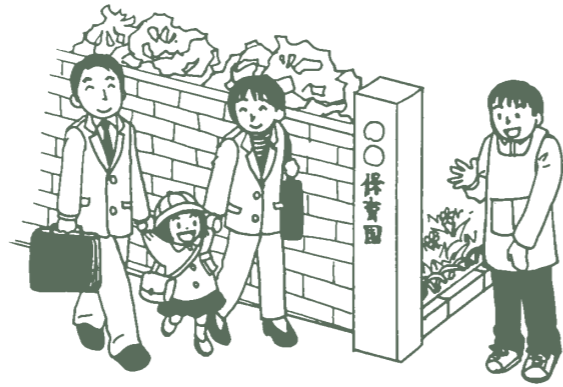
特集 積極的改善措置

(ポジティブ・アクション)

— 男女雇用機会均等法から —



連載 かがやく個性たち



〇〇

〇〇

〇〇

〇〇

〇〇

〇〇



今回は、女性に働きやすい環境に配慮している千葉中央ヤクルト販売会社 我孫子センターと、我孫子郵便局で郵便配達員として活躍している松井操さんに登場していただきました。



千葉中央ヤクルト販売会社 我孫子センター

◎黒川由美子さん(センターマネージャー)にうかがいました。

★ 仕事の内容を教えてください。

個人事業主として、それぞれ受け持ち区域を持ち、自主的に販売します。業績や意欲によって正社員の道も開かれています。私も販売員から正社員になりました。

★ 事業所に保育室を設置されていますか？

ヤクルト販売会社は、訪問販売を基本として、訪問販売・配達は、すべて女性を採用しています。配達の際に気軽に世間話ができるのも女性だし、一時期は市から一人暮らしのお年寄りの「お元気確認」も依頼されていました。食品や化粧品を扱うので、女性の特性が活かせる仕事ではないでしょうか。子どものいるお母さんを中心に採用していますので、その人たちのために保育室を併設しています。

★ どんな保育室ですか？

満1歳以上就学前までのお子さんを資格ある保育士が預かっています。「安全・公平・豊かな保育」をスローガンに、単に預かるというだけでなく異年齢保育の特徴を活かし運営しています。子どもたちは手作りのお弁当を持ってきて、お母さんのお仕事が終わるのを待ちます。

◎販売員の方にインタビューしました。

★ この仕事を選んだ動機は？

前の職場は、妊娠をした時に辞めざるを得なくなり、出産後社会復帰したいと思い探していたら、この仕事が見つかりました。今は楽しく働いています。

お客様や仲間子育てなど色々教えてもらえるので自分のためにもなるし、仕事への励みにもなりますよ。そのうえ、職場に保育室があるので安心です。



我孫子郵便局郵便配達員 松井 操さん

★ 今の職業を選んだ動機を、お聞かせ下さい。

母子家庭なので年間を通じてコンスタントな収入があることと、男女の給与の差がないことが第一の選択でした。

職場が近いので通勤に便利だし、一応年齢制限はあるものの健康であれば年齢が高くても仕事ができることでした。

★ 同僚の女性と男性についてお聞かせ下さい。

正職員も含め約100人の中で女性は8人います。特に女性だからという区別はありませんが、郵便物が多いときなどお互いに助け合っています。

★ これからこの仕事を続けていくにあたって何かありますか？

体力が勝負ですので健康第一です。バイクでの配達なので事故には充分気をつけています。

郵便物によってお客様の人生に深く関わることもあるので、そのことを認識して配達するよう心がけています。

郵便を待っていてくださるお客様のお手伝いをできることが喜びです。

★ 配達していて思うことは？

配達が終わるまで郵便局に戻れないので、日没が早い時は宛名の字が小さいと確認が困難です。宛名が正確でないと再確認等で配達が遅れますので正確な住所を書いたほうがありがたいですね。

配達時に「ありがとう」「ご苦労様」の一言が励みになります。

編集後記

「男女共同参画社会」いかにも堅苦しい感じがしてなりません。しかし、言わんとしている事は、柔軟な意識改革の必要性なのです。

今回の特集でとりあげた「積極的改善措置」を通して考えると、過去の固定観念にとらわれることなく、男女の人権を尊重していくことにつまざるのではないかと思います。そしてそうすることで人としてお互いにバランスのとれた生活が送れる社会になるのではないのでしょうか。「男女共同参画社会」とは、男女が共にやさしい社会をめざしているのだと私は思います。

(K.T.)